

観光施策費の内容

＝ 魅力ある観光地として発展を続けていくための観光振興施策 ＝

事業内容	事業費
①きめ細かなおもてなしを提供する観光人材の育成 ＜外国語対応可能な職員やノウハウを持った新たな人材を積極的に採用し、様々なニーズに対応できる観光地を目指す＞ 観光案内業務の強化／など	600万円
②魅力ある観光地づくり ＜新たなツーリズムの創出や魅力的な観光資源の発掘、磨き上げなど観光資源の整備を通じた観光消費を拡大させる取組を支援する＞ アクティビティセンター支援／渋滞対策／天橋立観光案内所支援／ 観光イベント支援／など	3,500万円
③各種観光関連団体との連携及び支援 ＜各種観光関連団体等と連携し、日本の顔となる観光地を目指す＞ 海の京都 DMO 支援／観光団体等との連携／など	4,200万円
④その他観光振興 観光施設の管理運営／など	7,800万円
事業費計	16,100万円

※特定財源含む

＜新たな事業展開＞

地域おこし企業人の採用／新たな海上交通の構築／観光キャンペーン支援／
商品造成・プロモーション強化／荷物預かりサービス／トイレ洋式化・看板等の多言語化／
農泊の取組支援／天橋立ビジターセンター支援／温泉泉源の維持／など

＜課題＞

- ・日帰り観光客は、増加傾向にあるが、宿泊客は、ほぼ横ばい。
- ・観光消費額は、伸び悩んでいる。
- ・観光施設等において、繁忙期における人手不足。
- ・閑散期における観光誘客が弱い。
- ・魅力的な観光コンテンツの磨き上げが不十分。
- ・観光客の満足向上につながる受入態勢が不十分
- ・多言語化、キャッシュレス化などのインバウンドの受入態勢が不十分。
- ・観光施設等の周遊性を高めるためには2次アクセスの整備が不十分。
- ・GW、正月及び連休等、交通量の増加に伴う駐車場不足等による交通渋滞の発生。
- ・SDGs に基づいた持続的な観光地域づくりの構築。
- ・after コロナ・with コロナに対応した感染防止対策の周知徹底及び新しい観光スタイルの構築。
- ・観光産業がもたらす経済効果等について、市民への周知が不十分。